

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 サニックス  
 コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 下城 正寛  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 東 大 福

TEL 092-436-8870

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,583	—	△122	—	△124	—	△143	—
20年3月期第1四半期	6,845	△23.7	330	—	300	—	152	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△3.01	—
20年3月期第1四半期	3.19	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	25,968	14,765	56.8	309.00		
20年3月期	25,957	14,863	57.2	311.06		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,742百万円 20年3月期 14,840百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	14,256	—	291	—	275	—	227	—	4.77
通期	29,297	10.5	1,922	222.5	1,882	280.1	1,680	—	35.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第1四半期 48,919,396株

20年3月期 48,919,396株

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期 1,209,093株

20年3月期 1,209,043株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第1四半期 47,710,340株

20年3月期第1四半期 47,710,708株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加などにより底堅く推移する一方で、米国のサブプライムローン問題や原油価格の高騰等、先行き不透明感が強まってまいりました。

こうした状況の中、当社グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、コンプライアンス（法令遵守）体制の強化や顧客本位の営業活動を推し進めるとともに、生産性の向上及びコスト削減による経営の合理化に注力し、業績回復を図ってまいりました。

平成20年4月22日に、平成23年3月期までを計画対象期間とする中期経営計画「Spring Plan 2010」を策定しました。これは近年の業績低迷の要因を再分析し、実現性の高い中期経営計画を策定することで、更なる業績回復、本格的な成長路線への転換を図ることとしたものです。また、環境資源開発事業部門においては、平成20年6月24日よりサニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）が発電する電力の卸売契約先を、より好条件の売電先に変更したことにより、同事業部門の収益性が改善する見込みです。

当第1四半期連結会計期間における売上高は、環境資源開発事業部門において前年同期比増収となったものの、HS（ホーム・サニテーション）事業部門、ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門ともに前年同期比減収となったことにより、グループ全体の売上高は6,583百万円（前年同期比3.8%減）となりました。利益面では、HS（ホーム・サニテーション）事業部門において、顧客基盤の拡大を目的として、白蟻防除の繁忙期（4月～6月）にテレビCM等を積極的に展開し、広告宣伝費をかけたため、販売費及び一般管理費が前年同期比7.7%増となりました。この結果、グループ全体の営業損失は122百万円（前年同期は330百万円の営業利益）、経常損失は124百万円（前年同期は300百万円の経常利益）、四半期純損失は143百万円（前年同期は152百万円の四半期純利益）となり、当初の業績予想どおりに推移しました。

当第1四半期連結会計期間における事業部門ごとの状況は次の通りであります。

#### ①HS（ホーム・サニテーション）事業部門

当第1四半期連結会計期間は、白蟻防除の繁忙期にあたり、顧客基盤拡大を図ることのできる絶好の時期であることから、白蟻防除の割引キャンペーンを実施するなど顧客件数の獲得に注力しました。しかしながら、その反動により既存顧客を中心としたその他の商品については前年同期比減収となりました。この結果、売上高は3,908百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

営業損益は、テレビCM等を積極的に展開し、広告宣伝費が前年同期に対して増加したことにより、営業利益は816百万円（前年同期は1,201百万円の営業利益）となり、売上高対営業利益率は20.9%（前年同期は28.1%）となりました。

#### ②ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

営業効率を高めるべく、ビル管理会社等との提携を推進し、個人オーナーを対象とした従来の営業からの移行を図ってまいりました。この結果、売上高は792百万円と前年同期比7.9%減となりました。

営業損益は、合理化を推進し販売費および一般管理費を中心にコスト低減が進んだ結果、営業損失は8百万円（前年同期は43百万円の営業損失）となり、収益性が改善してまいりました。

#### ③環境資源開発事業部門

サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）においては、電力の卸売契約先の変更に伴い送電切換え手続きに時間を要し、当初計画より約1ヶ月遅れの平成20年6月に売電先を変更しました。安定的な電力供給の目処も立ち、また、前期に火災事故等の影響により操業を停止していた反動もあり、売電収入は前年同期比大幅増となりました。有機廃液処理工場においては、順調に搬入量が増加したことにより前年同期比19.8%増となりました。この結果、当事業部門の売上高は1,883百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

営業損益は、各プラスチック資源開発工場において、搬入量増加を見据えた人員増強を前倒しで実施したことにより人件費が増加し、また、サニックスエナジー苫小牧発電所において売電先変更に伴って備えた設備メンテナンス費用として修繕費が増加した結果、営業損失は304百万円（前年同期は270百万円の営業損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の期末総資産は25,968百万円となり、前連結会計年度末比10百万円増加しました。主な要因は、未収入金の増加によるものであります。負債合計は11,202百万円となり、同107百万円増加しました。主な要因は、未払金の増加によるものであります。純資産合計は14,765百万円となり、同97百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失143百万円を計上したためであります。その結果、自己資本比率については、前期末57.2%に対し、当第1四半期末は56.8%となりました。

②キャッシュフローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は845百万円となり、前連結会計年度末に比べて174百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、188百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失125百万円を計上したものの、減価償却費215百万円等非資金支出項目が含まれているためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、120百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、242百万円の支出となりました。主な要因は、借入金の返済を進めたためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる損益へ与える影響はありません。

（追加情報）

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,843千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	845,300	1,019,848
受取手形及び売掛金	1,891,210	1,855,584
商品	15,387	16,102
半製品	58,296	76,645
原材料	481,689	485,708
その他	880,733	615,429
貸倒引当金	△88,158	△83,857
流動資産合計	4,084,459	3,985,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,377,485	4,469,286
機械装置及び運搬具(純額)	3,589,601	3,661,281
土地	11,722,008	11,722,008
その他(純額)	324,490	304,846
有形固定資産合計	20,013,585	20,157,422
無形固定資産	60,577	61,751
投資その他の資産	1,809,881	1,753,352
固定資産合計	21,884,044	21,972,526
資産合計	25,968,503	25,957,988
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	671,676	616,720
短期借入金	5,605,000	5,605,000
未払法人税等	36,346	122,144
引当金	191,194	423,596
その他	3,155,775	2,644,269
流動負債合計	9,659,994	9,411,731
固定負債		
長期借入金	28,315	34,816
退職給付引当金	1,072,888	1,042,023
その他の引当金	244,970	239,700
その他	196,724	366,660
固定負債合計	1,542,898	1,683,200
負債合計	11,202,892	11,094,931

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
資本剰余金	4,425,946	4,425,946
利益剰余金	△2,189,060	△2,045,384
自己株式	△1,610,689	△1,610,673
株主資本合計	14,668,030	14,811,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,655	29,214
評価・換算差額等合計	74,655	29,214
少数株主持分	22,924	22,119
純資産合計	14,765,611	14,863,056
負債純資産合計	25,968,503	25,957,988

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	6,583,550
売上原価	3,595,667
売上総利益	2,987,882
販売費及び一般管理費	3,110,855
営業損失(△)	△122,972
営業外収益	
受取利息	1,709
受取配当金	10,826
受取地代家賃	16,801
その他	7,215
営業外収益合計	36,553
営業外費用	
支払利息	37,663
その他	652
営業外費用合計	38,315
経常損失(△)	△124,734
特別利益	
受取保険金	318,000
特別利益合計	318,000
特別損失	
リース解約損	526
災害による損失	318,000
特別損失合計	318,526
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,261
法人税、住民税及び事業税	20,230
法人税等調整額	△2,946
法人税等合計	17,284
少数株主利益	1,129
四半期純損失(△)	△143,676

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,261
減価償却費	215,395
災害損失	318,000
受取保険金	△318,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,865
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,541
受取利息及び受取配当金	△12,536
支払利息	37,663
売上債権の増減額(△は増加)	△35,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,002
仕入債務の増減額(△は減少)	54,956
その他	76,171
小計	264,171
利息及び配当金の受取額	12,536
利息の支払額	△419
災害損失の支払額	△1,460
法人税等の支払額	△86,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△133,712
その他	13,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△141,501
その他	△100,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,548
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	845,300

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環境資源開 発事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,908,132	792,244	1,883,173	6,583,550	—	6,583,550
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,908,132	792,244	1,883,173	6,583,550	—	6,583,550
営業利益又は 営業損失(△)	816,303	△8,706	△304,179	503,416	(626,389)	△122,972

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
H S 事業部門	白蟻防除施工、基礎補修・補強工事、床下・天井裏換気システム、家屋補強システム等
E S 事業部門	防錆機器取付施工、建物給排水補修施工、建物防水塗装補修施工等
環境資源開発事業部門	廃プラ加工処理、有機廃液処理、売電等

3. 「4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、H S 事業部門で78千円減少し、環境資源開発事業部門で7,921千円増加しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	6,845,588
II 売上原価	3,628,123
売上総利益	3,217,465
III 販売費及び一般管理費	2,887,305
営業利益	330,160
IV 営業外収益	
1 受取利息	1,817
2 受取配当金	8,393
3 家賃収入	7,492
4 その他	12,104
V 営業外費用	
1 支払利息	45,576
2 賃貸費用	557
3 その他	13,004
経常利益	300,830
VI 特別利益	
1 受取保険金	13,366
2 貸倒引当金戻入益	138
VII 特別損失	
1 固定資産売却損	6,465
2 固定資産除却損	7,922
3 リース契約解約損	1,271
4 災害損失	16,476
5 投資有価証券評価損	55,112
6 役員退職慰労金	54,510
税金等調整前四半期純利益	172,575
法人税、住民税及び事業税	22,336
法人税等調整額	△1,049
少数株主利益	△936
四半期純利益	152,225

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	172,575
2 減価償却費	295,227
3 災害損失	16,476
4 保険金収入	△13,366
5 退職給付引当金の減少額	△82,093
6 再資源化費用等引当金の減少額	△83,169
7 貸倒引当金の減少額	△9,197
8 受取利息及び受取配当金	△10,211
9 支払利息	45,576
10 支払手数料	2,132
11 投資有価証券評価損	55,112
12 固定資産売却損	6,465
13 固定資産除却損	7,922
14 売上債権の減少額	282,805
15 たな卸資産の増加額	△122,895
16 未収還付消費税等の減少額	13,956
17 その他流動資産の減少額	58,916
18 仕入債務の増加額	94,118
19 未払消費税等の増加額	160,849
20 その他流動負債の増加額	311,720
21 その他	△8,615
小計	1,194,307
22 利息及び配当金の受取額	10,964
23 利息の支払額	△42,932
24 災害復旧費用の支払額	△1,950
25 損害保険金の受取額	97,000
26 法人税等の支払額	△132,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,124,553

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△12,109
2 有形固定資産の売却による収入	14,254
3 敷金及び保証金の純増減額	17,699
4 その他	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,938
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	△320,000
2 取締役からの債務の返済による支出	△50,000
3 長期借入金の返済による支出	△464,603
4 自己株式の取得・売却による純支出	△10
5 配当金の支払額	△301
6 その他	△102,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△937,031
IV 現金及び現金同等物の増加額	207,461
V 現金及び現金同等物の期首残高	595,837
VI 現金及び現金同等物の期末残高	803,298

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環 境 資 源 開 発 事 業 部 門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	4,277,900	860,413	1,707,274	6,845,588	—	6,845,588
(2)セグメント間の 内部売上又は振替高	—	—	177	177	(177)	—
計	4,277,900	860,413	1,707,451	6,845,765	(177)	6,845,588
営業費用	3,076,140	904,096	1,978,179	5,958,416	557,012	6,515,428
営業利益又は営業損失(△)	1,201,760	△43,683	△270,727	887,349	(557,189)	330,160

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

6. その他の情報  
部門別連結売上高

(単位：千円)

品目	数量 単位	前第1四半期		当第1四半期		比較増減	前連結会計年度	
		自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		自平成20年4月1日 至平成20年6月30日			自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
		数量	金額	数量	金額	金額	数量	金額
白蟻防除施工	千坪	248	1,476,153	260	1,528,840	52,686	865	5,022,942
基礎補修・補強工事	軒	4,533	1,682,586	2,819	1,220,167	△462,419	16,722	7,035,818
床下・天井裏換気システム	—	—	629,409	—	564,714	△64,694	—	1,901,806
家屋補強システム	軒	140	103,289	141	110,934	7,645	469	351,824
その他	—	—	386,461	—	483,475	97,014	—	1,378,814
H S 事業部門計	—	—	4,277,900	—	3,908,132	△369,767	—	15,691,207
防錆機器取付施工	本	167	232,486	173	201,239	△31,246	568	795,367
建物給排水補修施工	—	—	243,189	—	220,213	△22,975	—	1,013,175
建物防水塗装補修施工	—	—	122,549	—	139,946	17,396	—	578,344
その他	—	—	262,189	—	230,844	△31,344	—	954,038
E S 事業部門計	—	—	860,413	—	792,244	△68,169	—	3,340,925
廃プラ加工処理	t	35,864	913,252	39,532	891,323	△21,929	153,137	3,777,765
有機廃液処理	t	34,245	454,243	38,503	544,302	90,059	139,600	1,889,000
売電収入	—	—	7,413	—	270,033	262,619	—	769,686
焼却処理	t	6,500	252,227	—	—	△252,227	14,566	619,102
その他	—	—	80,137	—	177,514	97,376	—	422,985
環境資源開発事業部門計	—	—	1,707,274	—	1,883,173	175,898	—	7,478,540
売上高計	—	—	6,845,588	—	6,583,550	△262,038	—	26,510,673

(注) 平成19年11月6日付で北九州工場(焼却処理工場およびプラスチック資源開発工場)を事業譲渡いたしました。

決算に関する補足資料

(1) 四半期ごとの連結業績の推移

平成21年3月期

項 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	6,583	-	-	-
売上総利益	2,987	-	-	-
営業利益	△122	-	-	-
経常利益	△124	-	-	-
税金等調整前四半期純利益	△125	-	-	-
四半期純利益	△143	-	-	-

平成20年3月期

項 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日	自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日	自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	6,845	6,896	6,387	6,381
売上総利益	3,217	2,806	2,802	2,883
営業利益	330	△60	120	205
経常利益	300	△68	69	193
税金等調整前四半期純利益	172	△554	30	△2,289
四半期純利益	152	△573	12	△2,138

(2) 事業の種類別連結セグメント情報

平成21年3月期

(単位：千円)

		第1四半期 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	第2四半期 自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	第3四半期 自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	第4四半期 自平成21年1月1日 至平成21年3月31日
HS事業部門	売上高及び営業損益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	3,908,132	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	3,908,132	—	—	—
	営業費用	3,091,829	—	—	—
	営業利益又は営業損失(△)	816,303	—	—	—
ES事業部門	売上高及び営業損益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	792,244	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	792,244	—	—	—
	営業費用	800,950	—	—	—
	営業利益又は営業損失(△)	△8,706	—	—	—
環境資源開発 事業部門	売上高及び営業損益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	1,883,173	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	1,883,173	—	—	—
	営業費用	2,187,353	—	—	—
	営業利益又は営業損失(△)	△304,179	—	—	—
消去又は全社	売上高及び営業損益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	—	—	—	—
	営業費用	626,389	—	—	—
	営業利益又は営業損失(△)	△626,389	—	—	—
連結	売上高及び営業損益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	6,583,550	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	6,583,550	—	—	—
	営業費用	6,706,522	—	—	—
	営業利益又は営業損失(△)	△122,972	—	—	—

平成20年3月期

(単位：千円)

		第1四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	第2四半期 自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日	第3四半期 自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日	第4四半期 自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日
HS事業部門	売上高及び営業利益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	4,277,900	4,009,942	3,567,595	3,835,768
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	4,277,900	4,009,942	3,567,595	3,835,768
	営業費用	3,076,140	2,980,233	2,704,260	2,754,457
	営業利益又は営業損失(△)	1,201,760	1,029,709	863,334	1,081,310
ES事業部門	売上高及び営業利益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	860,413	937,779	781,593	761,138
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	860,413	937,779	781,593	761,138
	営業費用	904,096	951,445	854,931	832,235
	営業利益又は営業損失(△)	△43,683	△13,665	△73,337	△71,097
環境資源開発 事業部門	売上高及び営業利益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	1,707,274	1,949,149	2,038,007	1,784,109
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	177	176	59	—
	計	1,707,451	1,949,325	2,038,066	1,784,109
	営業費用	1,978,179	2,506,586	2,191,171	2,072,217
	営業利益又は営業損失(△)	△270,727	△557,260	△153,105	△288,107
消去又は全社	売上高及び営業利益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	△177	△176	△59	—
	計	△177	△176	△59	—
	営業費用	557,012	518,649	516,241	516,768
	営業利益又は営業損失(△)	△557,189	△518,825	△516,300	△516,768
連結	売上高及び営業利益				
	売上高				
	(1)外部顧客に対する売上高	6,845,588	6,896,871	6,387,196	6,381,016
	(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
	計	6,845,588	6,896,871	6,387,196	6,381,016
	営業費用	6,515,428	6,956,913	6,266,605	6,175,678
	営業利益又は営業損失(△)	330,160	△60,041	120,591	205,337